

長野県食品製造業振興ビジョン2.0

グローバルな視点で社会的ニーズに対応した長寿県「NAGANOの食」の創出・
提供により国内外の食市場をリードする食品製造業の実現



令和5年(2023年)3月
長野県産業労働部

- 新しい生活様式、デジタル社会への対応
 - ・郷土料理などの調理方法について理解を深められるよう、作る楽しみを味わえるICTを活用した情報発信の推進
- 異業種とのコラボ支援
 - ・異分野の食品製造業、飲食店、宿泊施設、土産卸等と交流・相談できる体制の構築
 - ・食を通じた「健康」や「環境」の学びによる県民の理解醸成と県民との共創による地域食産業の振興
 - ・国内外の食関連課題分析と課題解決のための異業種間連携の仕組み構築
 - ・食品関連産業の食に関する課題探索とフードテック活用による解決方策のための関係機関や企業との連携
 - ・食品製造業と関連産業との連携による食に対する新製品・新サービスの創出・提供
 - ・食品の製造・流通過程から排出される食品関連廃棄物等を有効活用する食品のアップサイクルによる環境負荷低減活動の実施
 - ・農業者や食品製造業、飲食・観光事業者等が地域課題を共有し、食品開発、販売等による課題解決に向けたプラットフォームの形成、マッチング等の支援

(2) 食品産業連携支援拠点の拡充・整備・機能強化

- (公財)長野県産業振興機構が食品関係団体との密な連携を図り、多様な需要に関する的確な情報収集と提供により食品製造を支援
- 「しあわせ信州食品開発センター」を活用し、プロダクトアウトからマーケットイン、カスタマーインの発想による新商品開発を支援
- マーケティングの専門家による販売チャンネル(出口)を見据えた商品開発戦略支援体制の構築
- 機械、電気、情報系企業等の異業種間連携による食関連製造機器の研究・開発・事業化の推進
- 技術支援に加え他機関や業界団体との連携強化による支援体制の構築・強化
- 食品産業の連携による「信州らしい」食ブランドである「NAGANOの食」の確立
- 大学や学術機関による機能性エビデンスの取得及び地域資源活用の試験研究に基づく新食品開発のための食品製造業者を含めたプラットフォームの構築
- 輸出先国や国内需要に対応するため、試行・実践、検証を戦略的に取り組むプラットフォームの構築
- 地域循環型食品産業の推進
- 試験研究機関連携による食に関する研究開発の推進
- 関連機関と連携し、ワンストップ型食品産業連携支援拠点の設置
- 工業技術総合センター食品技術部門へのフードテック等に関わる機器・施設整備